

平成25年度事業報告書

自然資源保全協会（GGT）は、設立以来、環境および自然資源の保全とその持続可能な利用を推進するというGGTの目的を達成するために、さまざまな活動を展開してきた。とくに、一般への普及活動、各種実態調査、内外を問わず志を同じくするNGOとの連携活動は重要な事業であると位置づけて積極的に取り組んでいるところである。

平成25年4月1日付けで一般社団法人自然資源保全協会として移行登記を完了し、一般社団法人として1年目の事業を実施したので以下のとおり報告する。

I. 広報普及活動

(1) 講演会・会議・イベント等の開催および参加

- ①平成25年3月にバンコクで開催された第16回ワシントン条約締約国会議（CITES COP16）の結果を受け、8月29日に東京でCITES報告会を開催した。
- ②9月20日には高知で宝石珊瑚関係者を対象にCITES報告会を開催した。
- ③12月17日には、来日したIWMC（国際野生生物管理連盟）ラポワント代表を講師に迎えてGGTセミナー「次のCITESでは何が提案されるか？」を開催した。
- ④平成26年2月17～18日に台北で開催された2014太平洋産宝石珊瑚国際シンポジウムに台湾区珠寶工業同業協会より招待をうけ、金子研究員がワシントン条約の過去、現在、未来について講演し、宮本業務執行理事が宝石珊瑚資源の持続可能な利用と国際連携の強化について講演した。

(2) 会報等の発行

会報としてニュースレターをこれまで、6月28日と11月7日、及び平成26年3月11日の計3回発行した。

当協会のホームページの内容は随時、更新しているところである。

(3) パンフレット、資料等の作成配布

当協会主催の講演会あるいは関連シンポジウム等の場を利用して、これまでに作成した資料やパンフレット・ポスター等の配布をおこなった。

今年度は一般社団法人への移行にともないGGTパンフレットを改訂し、講演会やセミナーで配布した。

Ⅱ. 資源情報調査活動

(1) 情報の収集

日常的に海外の環境団体等の情報を収集し、関係者に提供した。

なかでも水産庁補助事業において、海外コンサルタント6者とコンサルタント契約を締結し、海外漁場に関係する国や機関の漁業情報はじめ海外環境保護団体の動向やIUU漁業についての規制措置の動向等の情報収集につとめ、日々関係先に提供した。収集した情報は1年間で1,061件にのぼり、その情報量は300メガバイト以上となった。

(2) 調査事業等の実施

- ①水産庁からの委託事業は平成25年度より5か年事業の「水産資源持続的利用国際動向調査事業」を受託した。CITES附属書I・IIに掲載されている種を輸出する場合、輸出国が種の存続を脅かさないという証明書(NDF)を発給しなければならないため、専門部会を立ち上げてNDFガイドライン案策定の検討会議を9月、10月及び12月の3回開催した。継続の混獲生物検討協議会は1月に1回開催し、平成26年6月のFAO水産委員会に提出するサメ・海鳥評価レポートの作成方針を検討した。また、国際動向に対応する検討協議会を2月7日に開催し、第16回ワシントン条約締約国会議の結果を総括するとともに、平成26年5月のワシントン条約動物委員会に向けての対応を議論した。
- ②同委託事業では、サメ類国内聞取り調査を大阪、石川、下関、気仙沼、八戸で延べ9日間実施し、情報調査に努めた。
- ③海外におけるサメ類の水揚げ情報収集調査を11月にマレーシアのコタキナバルで実施し、1月にはインドネシアのインドラマユで行った。
- ④東京象牙美術工芸協同組合からの委託事業として、平成25年度はウガンダの象牙原材料確保調査事業を行い、アフリカゾウに関する象牙資源量調査を現地で実施した。
- ⑤宝石珊瑚保護育成協議会の委託事業では、12月に高知県宿毛市及び土佐清水市の珊瑚漁業者に対する聞取り調査を行い、持続可能なサンゴ漁業にむけて検討を行った。

Ⅲ. 国際会議等への参加および海外交流活動

(1) 国際会議等への参加

協会役職員等が下記に掲げる各種国際会議に、NGOとして参加した。

「COMHAFAT・ICCAT準備会合」(アル・ジャディーダ)	10/17~22
「第23回ICCAT年次会議」(ケープタウン)	11/16~27
「2014太平洋産宝石珊瑚国際シンポジウム」(台北)	2/17~18

(2) 海外NGOとの協力

海外のNGOとの関係強化を図り、連携を進めていくために、海外から来日したNGOの代表と意見交換をおこなった。12月に来日したIWMC代表のラポワント氏を漁業関係団体や象牙関係団体に案内し、CITES関係意見交換会を個別に実施するとともに、GGTセミナーを開催し、第16回ワシントン条約締約国会議の結果を総括した。

IWMC以外にも、ベルギーのEBCDや、その他米国の持続可能な利用を支持する海外NGO、コンサルタントと協力して、環境問題に関する国際的な動向について連携して情報収集活動を行った。

IV. 会員募集活動

会員の募集活動については、ひきつづき会員獲得の努力を展開しているところである。しかしながら、東日本大震災以降の諸情勢の変化により、退会者も出てきており、当協会役員をはじめ関係者の協力により、会員数の維持増大を目指したい。4月1日現在の会員数は、普通会员が法人44、個人106、賛助会員が特別2、法人2、賛助個人234の合計388である。(前年度の会員数は普通会员が法人43、個人110、賛助会員が特別2、法人2、賛助個人297の合計454であった。)

貸借対照表 総括表

(平成26年3月31日 現在)

一般社団法人 自然資源保全協会

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	32,747,759	0	32,747,759
A. 現 金	(0)	(0)	(0)
B. 普通預金 (三菱東京UFJ 虎ノ門)	(126,825)	(0)	(126,825)
C. 普通預金 (三井住友 日比谷)	(31,459,958)	(0)	(31,459,958)
D. 郵便振替預金	(1,160,976)	(0)	(1,160,976)
未収金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産・合計	32,747,759	0	32,747,759
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定財産	0	0	0
(3) その他の固定資産			
什器備品	256,845	0	256,845
敷 金	1,851,232	0	1,851,232
その他の固定資産・合計	2,108,077	0	2,108,077
固定資産・合計	2,108,077	0	2,108,077
資 産・合 計	34,855,836	0	34,855,836
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
未払費用	302,104	0	302,104
預り金	132,535	0	132,535
前受金	120,000	0	120,000
仮受金	473,806	0	473,806
流動負債・合計	1,028,445	0	1,028,445
2. 固定負債			
退職金給付引当金	12,770,000	0	12,770,000
固定負債・合計	12,770,000	0	12,770,000
負 債・合 計	13,798,445	0	13,798,445
III. 正味財産の部			
1. 指定・正味財産	0	0	0
(うち、基本財産、特定資産への充当額)			
2. 一般・正味財産	21,057,391	0	21,057,391
(うち、基本財産、特定資産への充当額)			
正味財産・合計	21,057,391	0	21,057,391
負債 及び 正味財産・合計	34,855,836	0	34,855,836

正味財産増減計算書 総括表

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

一般社団法人 自然資源保全協会

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I. 一般正味財産 増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費 収入	21,118,000	0	21,118,000
(一般会費)	(8,750,000)	(0)	(8,750,000)
法人会費	《 8,030,000 》	《 0 》	《 8,030,000 》
個人会費	《 720,000 》	《 0 》	《 720,000 》
(賛助会費)	(12,368,000)	(0)	(12,368,000)
賛助特別会費	《 10,850,000 》	《 0 》	《 10,850,000 》
賛助法人会費	《 1,076,000 》	《 0 》	《 1,076,000 》
賛助個人会費	《 442,000 》	《 0 》	《 442,000 》
② 事業 収入	500,000	26,520,360	27,020,360
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査	(500,000)	()	(500,000)
水産資源持続的利用国際動向調査事業	(0)	(18,515,500)	(18,515,500)
象牙原材料確保調査事業	(0)	(2,966,000)	(2,966,000)
宝石珊瑚ワシントン条約対策事業	(0)	(5,038,860)	(5,038,860)
③ 補助金等 収入	0	28,634,000	28,634,000
持続的漁業に向けた連携強化事業	(0)	(28,634,000)	(28,634,000)
④ 雑収入等 収入	331,398	0	331,398
⑤ 退職金給付引当金取崩益	3,080,000	0	3,080,000
事業活動 収入・計	25,029,398	55,154,360	80,183,758
(2) 経常費用			
① 事業費 支出	1,825,130	55,154,360	56,979,490
情報活動費	(975,405)	(0)	(975,405)
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査	《 431,691 》	《 0 》	《 431,691 》
風評被害軽減化対策事業	《 543,714 》	《 0 》	《 543,714 》
国際会議等開催費	(0)	(0)	(0)
資源情報調査費	(683,725)	(55,154,360)	(55,838,085)
水産資源持続的利用国際動向調査事業	《 0 》	《 18,515,500 》	《 18,515,500 》
象牙原材料確保調査事業	《 13,000 》	《 2,966,000 》	《 2,979,000 》
宝石珊瑚ワシントン条約対策事業	《 0 》	《 5,038,860 》	《 5,038,860 》
持続的漁業に向けた連携強化事業	《 670,725 》	《 28,634,000 》	《 29,304,725 》
会報作成費	(166,000)	(0)	(166,000)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
②管理費 支出	14,879,251	0	14,879,251
役員報酬	(3,133,870)	()	(3,133,870)
職員給与	(1,283,704)	()	(1,283,704)
法定福利費	(1,167,180)	()	(1,167,180)
福利厚生費	(334,362)	()	(334,362)
広報活動費	(210,835)	()	(210,835)
交 際 費	(32,227)	()	(32,227)
会 議 費	(80,462)	()	(80,462)
旅費交通費	(533,922)	()	(533,922)
通信運搬費	(274,859)	()	(274,859)
消耗品費	(234,600)	()	(234,600)
水道光熱費	(222,669)	()	(222,669)
新聞図書費	(182,376)	()	(182,376)
諸 会 費	(623,500)	()	(623,500)
支払手数料	(905,571)	()	(905,571)
事務所費	(4,270,500)	()	(4,270,500)
公租公課	(1,083,683)	()	(1,083,683)
減価償却費	(71,355)	()	(71,355)
雑 費	(233,576)	()	(233,576)
③退職金 支出	3,080,000		3,080,000
經常費用・計	19,784,381	55,154,360	74,938,741
当期經常・増減額	5,245,017	0	5,245,017
2. 經常外増減の部			
(1)經常外収益	0	0	0
(2)經常外費用	2,600,000	0	2,600,000
退職給付引当金	(2,600,000)	()	(2,600,000)
当期經常外・増減額	▲ 2,600,000	0	▲ 2,600,000
当期一般正味財産・増減額	2,645,017	0	2,645,017
┆一般正味財産・期首残高	18,412,374		18,412,374
┆一般正味財産・期末残高	21,057,391		21,057,391
II. 指定正味財産 増減の部			
当期指定正味財産・増減額	0	0	0
┆指定正味財産・期首残高			
┆指定正味財産・期末残高			
III. 正味財産・期末残高	21,057,391	0	21,057,391